

課題名：後代検定事業

担当部署名：肉用牛研究所・改良研究室

予算(期間)：県単 1952 年度～

1. 目的

本県銘柄牛「常陸牛」等の肉用牛生産のため、産肉能力の優れた種雄牛を造成し、凍結精液を安定的に供給することで和牛の改良を促進する。

直接検定で選抜した候補種雄牛を公益社団法人全国和牛登録協会(以下、全和という。)が定める和牛種雄牛産肉能力検定法により、現場後代検定を実施する。

2. 方法

全和が定める和牛種雄牛産肉能力検定(現場後代検定法)に基づき実施した。

1) 検定場所

畜産センター肉用牛研究所

全国農業協同組合連合会茨城県本部肉用牛哺育育成センター
民間農場

2) 供試牛頭数:概ね 18 頭/ 1 種雄牛

3) 出荷月齢:去勢: 29 か月齢未満、雌: 32 か月齢未満

3. 結果の概要及び要約

1) 直接検定牛「歩茶丸5」「埴乃木坂」は8月30日、「福久関32」は2月21日に直接検定を終了した。

2) 候補種雄牛「茂忠6」の産子について現場後代検定を終了した。
得られた枝肉成績及び格付け成績は表1のとおりである。

3) 専門部会にて候補種雄牛「那珂光圈」「那珂茂晴」「茂忠6」の選抜の可否について検討を行い、「那珂茂晴」を種雄牛として選抜した。

表1 現場後代検定の結果概要

候補種雄牛	性別	頭数	と畜月齢	検定期間	枝肉重量	左半丸枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	脂肪交雑	
					kg	kg	cm ²	cm	cm	%	BMS No	等級
那珂光圈	全体	21	29.6	610.4	513	257	68	8.5	2.6	75.2	7.3	4.5
	去勢	11	29.0	595.5	527	264	71	8.4	2.4	75.5	7.4	4.5
	雌	10	30.4	626.8	497	249	65	8.6	2.9	74.8	7.3	4.4
那珂茂晴	全体	7	29.6	611.0	523	263	72	8.4	2.4	75.6	9.3	4.9
	去勢	3	29.1	583.7	551	277	75	8.3	2.1	75.8	9.7	5.0
	雌	4	30.0	631.5	503	253	70	8.4	2.5	75.5	9.0	4.8
茂忠6	全体	23	29.3	606.9	502	250	63	8.6	2.6	74.7	6.8	4.2
	去勢	13	28.9	595.3	518	258	66	8.9	2.4	75.3	7.0	4.3
	雌	10	29.8	622.0	483	240	59	8.1	2.8	74.0	6.5	4.0